

ガバナー月信



ガバナー月信
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER
SEPTEMBER2026
VOL.03



ガバナーメッセージ

「誇りを胸に、未来へ繋ぐ 持続可能なインパクトを」

国際ロータリー第2570地区
2026-2027年度 ガバナー

原 島 生 慈

■ 秩父 RC

暦の上では秋を迎えましたが、なお厳しい残暑が続く毎日です。地区内各クラブの会員の皆様におかれましては、日頃よりロータリー活動へ深い情熱を注ぎ、地域の発展と奉仕の実践にご尽力いただいておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

7月にスタートした本年度のロータリー年度も3ヶ月目を迎えました。各クラブでの新しい体制やプロジェクトが本格的に動き出していることと存じます。

RI 会長テーマと地区方針

本年度のオンラインカ・ハキーム・ババロラ RI 会長は、「持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)」というテーマを掲げられました。この言葉は、私たちが日常行っている奉仕活動が単なる一過性の支援にとどまらず、地域社会や人々のアクションに根づき、未来へ渡って良い変化をもたらし続けることの重要性を問いかけています。

これを受け、私自身が本年度の地区活動方針として掲げさせていただいたのが『ロータリー活動に誇りを！』です。

私たちが「持続可能なインパクト」を生み出すための原動力、それこそが会員一人ひとりの「ロータリーへの誇り」に他なりません。私たちが115年以上にわたり築き上げられてきたロータリーの歴史と哲学に誇りを持ち、自らの地域で誇りある活動を展開してこそ、その行動は確かな説得力を持ち、人々の心を動かす大きなインパクトへと昇華するのです。

9月の強調月間「教育と識字率向上月間」に寄せて

9月はロータリーの「教育と識字率向上月間」です。教育支援や識字率の向上は、一朝一夕で成果が見えるものではありません。しかし、一人の子どもに学びの機会を提供し、教育環境を整えることは、その人の人生を切り拓き、やがては地域社会全体を豊かにする「持続可能なインパクト」そのものです。

第2570地区でも多くのクラブで、国内における子どもの学習支援や居場所づくり、海外の恵まれない地域への教材・教育環境の寄贈など、多角的な取り組みが継続して行われてきました。これらの奉仕活動は、まさに私たちが誇るべき伝統であり、未来への投資です。

「誇りを胸に、未来へ繋ぐ持続可能なインパクトを」

今年度も各クラブにおいて、地域の実情に応じた実効性の高い教育支援活動が計画されていることと思います。ぜひ、「この活動が10年後、20年後の地域にどのような変化をもたらすか」という視点を持ち、誇りを持って取り組んでいただくことを願います。

誇りを生み出す3つの柱

地区ガバナーとして、皆様と共にこの1年で創り上げていきたい「誇り」には、3つの視点があります。

- ・歴史と理念への誇り 四つのテストや「超我の奉仕」という普遍的な理念を、現代の視点で再解釈し、自信を持って実践すること。
- ・地域社会への誇り 私たちが拠点を置く第2570地区（埼玉県北・西・東部エリア）の課題に真摯に向き合い、真に求められる奉仕活動を展開すること。
- ・仲間とクラブへの誇り 多様な職業と価値観を持つ会員同士が互いを尊重し、切磋琢磨しながら親睦を深め、明るく魅力的なクラブ運営を行うこと。

クラブの中に笑顔があふれ、会員同士が絆を深めながら誇り高く活動している姿は、周囲の人々を惹きつけます。これこそが、ロータリーの最重要課題の一つである「会員増強」や「多様性（DEI）の推進」に対する最も力強い解決策になると確信しております。

結びにガバナー公式訪問を通じて

現在、私は地区内各クラブへの公式訪問を進めております。各地域で皆様が情熱を持って地域課題に取り組み、魅力あるクラブづくりに励まれている姿を拝見し、胸が熱くなる思いです。秩父の地から始まった私のロータリー人生ですが、地区内のどのクラブを訪れても、そこには変わらない奉仕の情熱と仲間への温かい配慮があります。

ババロラRI会長が示された「持続可能なインパクト」は、決して特別な大事業だけを指すものではありません。私たちが日々行う例会での語り合い、地域での小さな奉仕活動、そして新会員への温かい一言その積み重ねすべてが未来への確かな一歩となります。

どうぞ会員の皆様、ご自身のロータリー活動に大きな誇りを持ってください。そして、その誇りを胸に、一歩先を見据えた「持続可能なインパクト」を共に創り出していきましょう。

皆様の益々のご健勝と、各クラブの豊かな発展を心よりお祈り申し上げ、9月号のメッセージといたします。



青少年交換開講式

第1回 オリエンテーション
8月23日(日)



ガバナーエレクト
五十嵐 敦子
■ 本庄RC



於：東松山市民文化センター



青少年プログラム委員会
青少年交換委員会
委員長

温井 康宏

■ 本庄RC

新たな希望の架け橋： 青少年交換プログラム開講式

去る8月23日、東松山市民文化センターにて、青少年交換プログラム「第1回オリエンテーション(開講式)」が盛大に開催されました。今年度、本地区が迎えるインバウンド学生、そして、来年には世界へと羽ばたくアウトバウンド派遣候補生が一堂に会し、新たな国際親善のドラマが幕を開けました。

このプログラムは、単なる留学ではありません。異なる文化を肌で感じ、理解し、友情を育むことで、世界平和への一步を刻む重要な奉仕事業です。今年度、本地区では5名のインバウンド学生を迎え、また6名のアウトバウンド派遣候補生を送ります。

ここに、今年度プログラムの中核を担う学生たち、そして彼らを支えるリーダーたちを紹介いたします。



■ インバウンド学生(来日学生)紹介

世界各地から、大きな夢を抱いて本地区へやってきた5名の「小さな親善大使」たちです。各ホストクラブの皆様、彼らの日本での生活が実り多いものとなるよう、温かいご支援をお願いいたします。

- ・ Chia-Wei TU (ジャーウェイ・トゥー) (台湾/川越小江戸 RC)
- ・ Kateřina BOŘÁNKOVÁ (カトリーナ・ボラー・ンコヴァー) (チェコ/入間南 RC)
- ・ Carinna Aurelia Hendarto (カリナ・アウレリア・ヘンダルト) (インドネシア/所沢東 RC)
- ・ Emilia Ewa KRAUS (エミリア・エヴァ・クラウス) (ポーランド/深谷 RC)
- ・ GRANITZIO Matilde (グラニッツィオ・マティルデ) (イタリア/本庄 RC)



■ アウトバウンド派遣候補生紹介

厳しい選考試験を突破し、日本を代表して世界へ挑む5名の候補生たちです。これから、月例オリエンテーションにて熱心に研修に励んでいます。皆様のクラブ例会等での卓話の機会を、ぜひ作ってあげてください。

- ・ 岡本 結衣 (川越西ロータリークラブ)
- ・ 野地 凛々子 (東松山ロータリークラブ)
- ・ 島田 淳平 (東松山むさしロータリークラブ)
- ・ 雉鳥 瑛土 (新所沢ロータリークラブ)
- ・ 杵鞭 とわ (所沢東ロータリークラブ)
- ・ 新井 柊 (志木ロータリークラブ)



■ プログラムを支える学友・ローテックスのリーダーたち

プログラムの円滑な運営と学生たちのサポートには、OB・OGの力が欠かせません。今年度、学友会とローテックスを牽引するお二人です。

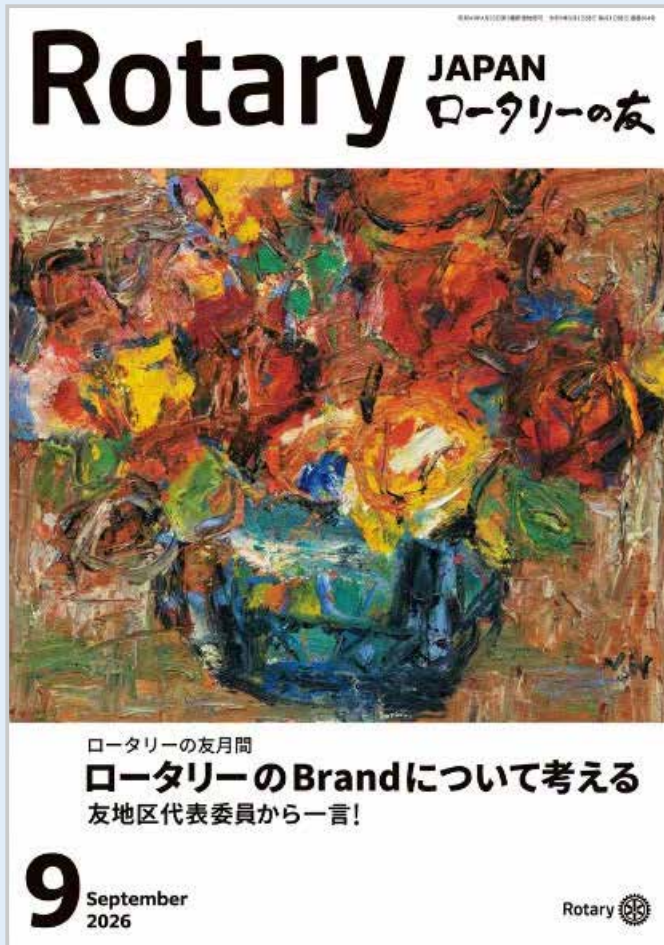
- ・学友会長 東 篤史
- ・ローテックス会長 原口 柚羽

青少年交換プログラムは、地区全体の協力なしには成り立ちません。ホストクラブ、ホストファミリー、カウンセラー、そして全てのロータリアンの皆様の熱意とご支援が、学生たちの人生を大きく変え、世界の未来を明るく照らす「希望」となります。今年度も、学生たちの成長を共に見守り、本地区から世界へ、友情と親善の和を広げてまいりましょう。



あなたはもう読みましたか

ロータリーの友月間 — 特集 — P.6 ~ P.12



第2570地区ロータリーの友
地区代表委員

山根 益男

■ 秩父RC

ロータリーの友は、RIと会員を結ぶ唯一の基幹誌です。

国内外のロータリー情報を掲載し、ロータリー精神を育むと共に、ロータリー活動の活性化を目的としています。

地区代表委員は、毎月提出するリポートで友誌に対する評価・提言、友誌から地区への広報、地区の活動情報を友誌へ提供などを役割としています。パソコン、スマホ等でも、ロータリーの友のホームページから、友電子版・アーカイブ・手引書が読めます。紙の雑誌と同じレイアウトで読むことができ、ページの拡大表示も可能です。アーカイブは、1953年1月の創刊号から73年間の全ての友誌を閲覧できます。年代別やキーワード検索もできますので、所属クラブの記事や興味のあるテーマ、奉仕活動の検索や活動のヒント探しと、様々に活用できます。「温故知新」の言葉のように、過去の知識を復習し、それを応用して新しい問題に取り組むこと、要するに活用しクラブを活性化することに繋がります。また、ロータリーの手引書は、ロータリーを正しく理解し、活動に役立てるための解説書です。主な内容は、世界のロータリーの雑誌、ロータリーの友の説明や歴史、投稿規定、掲載されるコツ、著作権、肖像権について、強調月間の説明等々です。

最後に、ロータリーの友へ投稿のお願いです。2570地区並びにクラブの全国にアピールする活動を記事にして、友のホームページからロータリーの友事務所に投稿して下さい。お待ちしております。

2026-27年度

地区大会 第1日目

11月21日(土)

-会場-

ナチュラルファームシティ
農園ホテル



秩父市大宮5911-1
TEL. 0494-22-2000



私たち  お待ちしています。



第2日目

11月22日(日)

-会場-

秩父宮記念市民会館
大ホール フォレスト



秩父市熊木町8-15
TEL. 0494-24-6000



第1グループ南

7月14日(火)



会長
野溝 守



幹事
近藤武弘

原島ガバナー公式訪問 川越ロータリークラブ

川越プリンスホテル

原島生慈ガバナー、第1グループ南大谷龍之ガバナー補佐ほか多くの皆様をお迎えして公式訪問を開催致しました。入会5年未満の会員14名との懇談会では、新会員のロータリーに対する価値観や活動に関して原島ガバナーから意見を求められ、これに答えるかたちで活発な意見交換がなされました。最後に、原島ガバナーよりご示唆を頂き、新会員にとって有意義なものとなりました。

卓話では、「RI会長のメッセージ」と「地区の方針」に関して、お話し頂きました。

RI会長メッセージでは、「持続可能」の重要性についてご自身の意見を交えつつお話し頂きました。地区の方針については、ロータリー活動に誇りを持つことが大事であり、未来志向でポジティブな思考を持ち、クラブの伝統を守りつつ新たなことに挑戦を続ける重要性についてお話し頂きました。



第1グループ南 ガバナー補佐 大谷 龍之 (川越坂戸 RC)



川越ロータリークラブは、第2570地区において最も古い歴史を誇る名門クラブであり、本年創立75周年という記念すべき節目を迎えられました。会員数は100名を超え、地区内でも屈指の規模を誇ります。江戸城下町として栄えた川越の地に根差し、地域社会とともに歩みながら奉仕の実績を積み重ねてこられました。本年度は第76代 野溝守会長のもと、クラブテーマを「感恩報酬～感謝の気持ちを行動に～」と定め、先人の志を受け継ぎつつ、思いを具体的な行動へと結びつける奉仕活動を展開しておられます。伝統と革新を兼ね備えた同クラブの今後のご発展を期待しております。



米山記念奨学生になって

趙 冠華 チョウカンカ
中国・北京市 (立教大学)

この四か月間、川越ロータリークラブの皆さまに温かく迎えていただき、安心して学びに向かう日々を送っています。

私は博士論文の研究のほかに、大学の学部ゼミでティーチングアシスタントを務めています。先日は、学生たちと「観光地のごみ箱」について議論しました。日本では景観や管理の面から設置しないことが多く、中国では数多く置かれています。どちらが正しいということではなく、比較する中で、当たり前だと思っていたことが当たり前ではないと、学生も私も気づかされました。

小さな違いに目を向けることから、相互理解は始まるのだと感じます。奨学生として過ごすこの時間を大切に、これからも学び続けてまいります。

第4グループ南

7月22日(水)

原島ガバナー公式訪問
寄居ロータリークラブ

寄居町商工会内

会長
荻野真仁幹事
吉田昌弘

公式訪問にてガバナー 原島生慈様から貴重な講話をいただきました。RI会長メッセージの「持続可能なインパクトを生み出そう」についてわかりやすく説明をいただくとともに、日々の活動にどのようにとり入れていくのか、生かしていくのか等今後の活動についてお話をいただきました。その後のクラブ協議会では、「ロータリー活動に誇りを持てた経験」を、数人のメンバーに発表してもらい、全体協議の中でメンバー全員の熱い思いを再確認いたしました。また、同行いただきました第4グループガバナー補佐 五十嵐敦子様、地区副幹事 橋本和也様、地区副幹事 井上豊様にも寄居ロータリークラブの例会へ参加いただき、時にはアドバイス等もいただき、大変ありがとうございました。本日は寄居ロータリークラブにとって貴重な一日となりましたこと改めて御礼申し上げます。

第4グループ西 ガバナー補佐
五十嵐 敦子 (本庄 RC)

寄居ロータリークラブは、地域の大切な資産である荒川の自然環境に目を向け、地域と共に歩む社会奉仕・環境保全活動に取り組んでいます。本年3月に開催された第2回荒川エコキャンプには、大人29人、子ども41人を含む合計95人が参加しました。エコセミナーや飯盒炊飯、清掃活動、ライフジャケットを着用してのボート・サップ体験など、楽しみながら荒川の環境保全や水難事故防止について学ぶ機会となりました。地域の皆様と共に活動を創り上げる会員の行動力と結束力に、ガバナー補佐としても深い感銘を受けました。これからも荒川の自然を守り、次世代へ繋ぐ奉仕活動を継続して頂きたいと思います。



米山記念奨学生になって

宋 宗明 ソウソウメイ
中国・山西省 (東京電機大学)

ロータリークラブの奨学生になり、例会に参加することで、例会の交流の大切さを感じることができました。クラブの皆様はいつもお世話になりました。例会では、クラブの会員の方々による講演を聞く機会があり、異なる国や年代の人が生活についてどのような考えを持っているのかを知ることができました。また、会員の方が病気になり手術を受けられたことがありました。その方の講演から、命の大切さが分かり、皆様の楽観的態度も感じました。このような交流を通して、日本の文化や人との関わり方について、以前より深く理解することができました。ロータリークラブでの経験は、私にとって貴重な学びとなりました。

第5グループ東

7月23日(木)

原島ガバナー公式訪問
行田ロータリークラブ

行田市商工センター



会長
清水龍男



幹事
松岡 保

7月23日、行田ロータリークラブにて原島ガバナー公式訪問が行われました。入会3年～5年未満の会員を中心に懇談会を開き、入会しやすく続けやすいクラブ運営の改善策を集めました。

例会では原島ガバナーの自己紹介とこれまでのロータリー歴を踏まえつつ、今年度のRI会長テーマと2570地区の方針を共有した。重点は、持続可能な変化、クラブの活性化、ポリオ根絶、平和推進、公共イメージ向上、若い人材の参加促進である。あわせて、地区はクラブの為にあり、奉仕は自己犠牲ではなく誇りと成長につながる自己投資だと述べ、前向きな姿勢で仲間を増やす重要性を訴えた。

例会終了後は「ロータリー活動に誇りを持ってた経験」をテーマにクラブ協議会が行われた。



第5グループ東 ガバナー補佐
谷山 誠 (加須 RC)



1966年8月1日に熊谷RC様をスポンサークラブとして誕生して60年。創立以来一貫して、町の繁栄は市民の教育レベルに比例するとの信念のもと教育問題に取り組んでまいりました。市立図書館にロータリー文庫を設置し、毎年青少年向けの書籍を寄贈、2022年には小型移動図書館車「たびりん号」を寄贈いたしました。英語の絵本をはじめ紙芝居の読み聞かせなども行い、また姉妹クラブの一つ白川RCとは青少年の交流会を行いました。8年前から毎年、公益財団法人京都大学iPS細胞研究団へ寄付をしております。歴史をつないだ60年、新たな時代へワクワク・ドキドキのロータリーライフを会員とともに楽しみたいと思います。

第4グループ東

7月24日(金)

深谷ロータリークラブ



会長

下境将寛



幹事

押野見孝道

深谷ノースロータリークラブ



会長

山川大輔



幹事

高田幸生

原島ガバナー公式訪問
深谷・岡部・深谷東・深谷ノース
ロータリークラブ

岡部ロータリークラブ



会長

内田勝一



幹事

黒津 昇



会長

荒木正和



幹事

飯塚 昇

令和8年7月24日(金)、国際ロータリー第2570地区第4グループ東(深谷、深谷東、深谷ノース、岡部)合同の原島ガバナー公式訪問例会が開催されました。

懇親会では「入会3年目の退会者増加」という課題が提起され、イメージの乖離を防ぐため各クラブで役割を持つ重要性を共有。

原島ガバナーは「ロータリー活動に誇りを」をテーマに卓話を行い、経済衰退や会員減少に立ち向かうため、例会時間や服装の変更など時代に即した変革を訴えました。

また、奉仕とは自己犠牲ではなく、自己変革をもたらす究極の自己投資だと説かれました。正田ガバナー補佐を中心に、4RCは魅力あるクラブ活動方針とブランド確立に邁進します。(岡部RC 幹事 黒津 昇)



第4グループ東
ガバナー補佐
正田康高

深谷東ロータリークラブ

深谷東ロータリークラブは、近代日本経済の礎を築いた渋沢栄一翁のふるさと・深谷を拠点に、「つながり」を大切にしながら地域に根ざした奉仕活動を続けています。

献血活動をはじめ、地域の児童養護施設への支援、青少年奉仕、地域交流など、未来を担う子どもたちや地域の皆さまに寄り添う活動に力を注いでいます。

渋沢翁が大切にした、人と人との信頼や社会への貢献の精神は、ロータリーの「超我の奉仕」にも通じるものがあります。

世代を超えて会員同士のつながりを深め、「ロータリー活動に誇りを！」胸に、情熱と笑顔をもって、楽しく地域に必要なとされるクラブを目指して活動してまいります。

深谷ロータリークラブ

深谷ロータリークラブは昭和36年に設立され、今年で65年を迎えます。深谷と言えば郷土の偉人である渋澤栄一翁であり、近代国家形成に大きく貢献をしたことは広く知られておりますが、その中でも福祉や教育そして医療などにも多くの力を注いでおられます。そのような渋澤栄一翁からロータリーの心にも通じる社会奉仕・国際交流・職業奉仕の精神を学び、根幹を見据え、創意工夫をもって、65年の歴史の重さと伝統を先輩諸兄が築き上げて来られました。時代の変化が著しく、多様性が叫ばれる昨今では、既存会員も新入会員も満足できるクラブであり続けることが益々難しくなっておりますが、退会者を出すことのないクラブ運営に細心の注意を払っていきたくと考えています。ご助言頂ければ幸いです。

岡部ロータリークラブ

岡部ロータリークラブは、地域とのつながりを大切にしています。活動としては、少年ラグビー大会の開催、岡部西小学校でのホタル授業、コスモス祭りに向けてのコスモス畑の手入れ、はんの森公園の清掃活動、岡部駅への置き傘の寄贈、子ども食堂へのお米の寄贈、県外では、能登・輪島の復興支援など、幅広い活動を行っています。また、会員ご家族との親睦も大切にし、交流会やご家族へお花の贈呈を長年続けています。近年は若手会員も増え、平均年齢は50代となりました。次年度には創立50周年という節目を迎えます。これからも地域に根ざした奉仕活動と会員増強に取り組み、新しい仲間づくりを進めていきます。

深谷ノースロータリークラブ

深谷ノースロータリークラブは、国際奉仕、青少年奉仕、社会奉仕を中心に、会員が楽しみながら活発な活動を続けています。特に国際奉仕は当クラブの特色の一つで、海外との交流を通じて多くの出会いと学びを重ねてきました。今年度の合言葉は「Happy! Enjoy! Smile!」。奉仕する私たち自身が楽しみ、笑顔になることを大切にしています。一方、活動をさらに充実させるには会員増強が欠かせません。また、入会3年未満の会員は現役世代が多く、仕事との両立から活動への参加が難しいという課題もあります。世代や立場を越えて、それぞれが無理なく関わり、「参加してよかった」と思えるクラブをみんなで作っていきたくと考えています。



米山記念
奨学生
になって

商 文波
ショウブンハ

中国・遼寧省
早稲田大学

ロータリー米山奨学生になってから、大学での研究だけでなく、ロータリークラブの例会やさまざまな交流の機会を通して、多くの方々と出会うことができました。最初は少し緊張していましたが、皆さんがいつも温かく声をかけてくださり、日本での生活をより身近に感じられるようになりました。特に、世代や職業の異なる方々のお話を聞く中で、自分とは違う考え方や価値観に触れたことは、非常に貴重な経験です。また、奨学生として支えていただく中で、感謝の気持ちだけでなく、自分も将来誰かを支えられる人になりたいと思うようになりました。これからも一つ一つの出会いを大切に、研究や日々の生活に真摯に取り組んでいきたいです。



米山記念
奨学生
になって

タントリ・
オクタリナ・
アンドレア
インドネシア
埼玉工業大学

米山奨学生になって4か月、一番印象に残っているのは「人前で日本語を話す」ことへの緊張を乗り越えてきた経験です。ロータリークラブの例会や学友会の場で自己紹介や発表をする機会が増え、最初は言葉に詰まり、頭が真っ白になることもありました。それでも一つずつ場数を踏むうちに、少しずつ自分の言葉で気持ちを伝えられるようになってきたと感じます。留学生として専門的な話題を日本語で発信する難しさは今も感じますが、この4か月で「話すこと」への恐怖より「伝えたい」という気持ちの方が大きくなりました。温かく見守り支えてくださる皆様に、心より感謝しております。



米山記念
奨学生
になって

グエン ヴァン
グアン
ベトナム
ものづくり大学

ロータリークラブの奨学生になってから、以前より多くの人と交流する機会が増え、さまざまな経験をすることができました。例会や交流会、活動などに参加する中で、日本の文化や地域とのつながりについて学びました。特に、皆さんが温かく声をかけてくださり、いつも応援してくださることがとても嬉しかったです。また、奨学生として活動することで、自分から積極的に人と話すことや、感謝の気持ちを言葉で伝えることの大切さも学びました。これらの経験は、学校生活だけでは得られない貴重なものだと感じています。これからもロータリークラブで学んだことを大切に、周りの人に恩返しできる人になりたいです。

第1グループ南

7月27日(月)

原島ガバナー公式訪問
川越中央ロータリークラブ

ラ・ボア・ラクテ

会長
橋本直哉幹事
岡田 博

2026年7月27日、ラ・ボア・ラクテにおいて、RI第2570地区ガバナー原島生慈様、第一グループガバナー補佐 大谷龍之様、同行者宮前勉様をお迎えし、川越中央ロータリークラブガバナー公式訪問が行われました。

ガバナー懇談会から始まり、入会5年未満の会員を対象とした懇談会では入会の動機・現在のロータリーに対する思い、など総勢5名と意見交換をしていただきました。

ガバナー訪問卓話においては、RI会長オンラインカ・ハーキム・ババロラ氏のメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」という言葉について原島ガバナーの考えをいただきました。

地区スローガンである「ロータリー活動に誇りを！」については、原島ガバナーの熱い思いを語っていただき、会員全員が聞き入ってしまいました。

クラブ協議会では、「ロータリー活動に誇りを持てた経験」というお題を受け3名の会員に発表していただきました。

- ・災害復旧支援を行った際の達成感とクラブの一体感
- ・若手会員の成長と共に行動していく喜び
- ・バッチ着用による自覚と行動の変化

様々な体験談をいただき、当クラブの温かさ・強みを再認識する良い機会をいただきました。

原島ガバナー、大谷ガバナー補佐、地区副幹事 宮前様 お忙しい中有難うございました。心から感謝いたします。

第1グループ南 ガバナー補佐
大谷 龍之 (川越坂戸 RC)

川越中央ロータリークラブは夜間例会を特徴とし、高齢化が進む中でも若手新会員の獲得に力を入れている独自の強いクラブです。2026-2027年度は2020年入会という新進気鋭の橋本直哉会長のもと、「基本を見直し、会員同士が互いを知り理解しあえる環境の整備」「毎月例会に参加できることへの感謝を忘れず、家族や地域社会に貢献する意識」「無理をしないちょうどいいロータリー活動」という3つの方針を掲げておられます。参加しやすい奉仕体制づくりに加え、マイロータリーの活用やRLIへの参加、他クラブへのメイキャップも推奨するなど、会員の学びと成長を重視した運営が印象的なクラブです。



米山記念奨学生になって

李 正韓 リジョンハン

韓国・木浦市 (尚美学園大学)

ロータリークラブの奨学生になってから、大学での音楽の勉強とともに、さまざまな貴重な経験をすることができました。例会に参加し、幅広い年代や職業の方々と交流する中で、今まで知らなかった考え方や価値観に触れることができました。音楽を専攻している私にとっても、音楽だけでなく、人とのつながりやコミュニケーションの大切さを学ぶ良い機会となりました。また、支えてくださる方々への感謝と、奨学生としての責任も強く感じています。これからも音楽の勉強に励み、将来は自分の音楽を通して人に感動を与え、周りの方々に恩返しができる人になりたいと思います。

第2グループ

7月29日(水)

原島ガバナー公式訪問 志木ロータリークラブ

埼玉りそな銀行 志木支店3F



会長
國分 学



幹事
影山和良

原島ガバナー、松岡ガバナー補佐、秩父 RC の皆様をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。例会に先立ち、入会 5 年未満の会員 10 名との懇談会を行い、入会の経緯や退会防止、今後取り組みたい奉仕活動について活発な意見交換が行われました。

例会では原島ガバナーより、今年度の方針とともに、持続可能な奉仕と自己変革の重要性について卓話をいただきました。

続くクラブ協議会では、「ロータリー活動に誇りを持てた経験」をテーマに 3 グループに分かれて意見交換を実施。ロータリーだからこそ実現できる奉仕の意義や、仲間との絆、活動が続けることの誇りを改めて共有しました。原島ガバナーの熱意に触れ、今後の活動への思いを新たにす貴重な一日となりました。



第2グループ ガバナー補佐 松岡 昌宏 (志木 RC)



志木ロータリークラブは、朝霞 RG をスポンサークラブとして 1972.2 月に創立されました現在会員数 49 名、常に 50 名前後を確保している第 2 グループで最大規模です。志木クラブは官・民・学の連携により地元での奉仕活動をすいしんしており、十文字大学との協力連携による奉仕活動、細田学園高校インターアクトクラブの支援、又志木市青少年育成会議との相互協力等青少年奉仕活動に大変強味を持っております。また西川パストとガバナーを排出したこともあり 3.11 ロータリー希望の風奨学金制度を継続中です。さらには、志木クラブよりガバナー輩出を目指しており、益々活発なクラブとなっております。

第4グループ西

7月30日(木)

原島ガバナー公式訪問
本庄ロータリークラブ

五州園

会長
巴 高志幹事
高橋 豊

原島生慈ガバナーをお迎えして公式訪問例会を7月30日に開催致しました。本庄ロータリークラブは、本年度「ロータリーの友情で、奉仕活動を！」をテーマに掲げています。親睦を深め、増強にも力を注ぎながら、活力ある組織を目指します。これまで5名のガバナーを輩出してRI会長代理も務められたパストガバナーがおられるクラブは先輩方から受け継ぐ大切な財産です。次年度には、地区初の女性ガバナーが本庄から誕生します。積み重ねてきた歩みの重みと、次世代へ繋ぐ責任をあらためて感じました。今年1年、会員相互の友情を大切にして奉仕活動を実践し、地域から信頼され、模範となるクラブを目指して、会員全員で力を合わせてまいります。

第4グループ西 ガバナー補佐
五十嵐 敦子 (本庄 RC)

本庄ロータリークラブは、長い歴史と伝統を大切にしながら、地域に根差した奉仕活動を継続しているクラブです。本年度は「ロータリーの友情で、奉仕活動を！」をテーマに掲げ、会員相互の理解を深め、会員増強にも力を注ぎながら、活力あるクラブづくりに取り組んでいます。長く継続しています「養護施設上里学園プロジェクト」今年度も遊園地へ招待が予定されています。また、本庄ロータリークラブは、これまで5名のガバナーを輩出し、さらにパストガバナーからRI会長代理を務められた会員もおられることは、クラブにとって、長年培ってきた大きな財産です。次年度には、地区初となる女性ガバナーを本庄から輩出いたします。会員同士の友情と絆を大切に、地域から信頼されるクラブとして、さらなる発展を期待しています。

米山記念奨学生になって
チャン ピー アウン
ミャンマー (ものづくり大学)

ロータリークラブの奨学生になってから、私の生活にはさまざまな変化がありました。経済的な支援をいただいたことで、アルバイトの時間を減らし、建築の勉強により集中できるようになりました。また、学校のイベントにも積極的に参加でき、仲間も増えました。

さらに、本庄ロータリークラブの皆様や他地区のロータリークラブの皆様、さまざまな国の方と交流する機会が増え、自分の視野が広がりました。例会やイベントに参加する中で、人前で話すことへの緊張も少なくなりました。

ロータリーの活動を通して、人道や平和、助け合うことの大切さも理解しました。そして、ミャンマーについて改めて考える機会も増え、これからミャンマーをどのように再建していくべきかについて、考えるようになりました。色々な経験を大切にし、将来は自分も社会や人の役に立てる人になりたいです。



新会員紹介

New Member Introduction



矢内大介
(川越RC)

入 2026年7月21日
勤 埼玉縣信用金庫 川越支店
役 支店長
生 1974年1月29日
紹 藤倉省一、小高 章



笹森貴嗣
(川越中央RC)

入 2026年7月2日
勤 内装センター(株)
役 代表取締役
生 1970年11月26日
紹 立川孝矣、田中秀樹



前田徹浩
(飯能RC)

入 2026年7月8日
勤 (株)CK-link
役 一
生 1965年10月8日
紹 都築敏夫



中野寛之
(飯能RC)

入 2026年7月8日
勤 イルコン工業株式会社
役 代表取締役
生 1975年7月22日
紹 大野泰規



岩沢隆史
(飯能RC)

入 2026年7月8日
勤 文化新聞株式会社
役 代表取締役
生 1970年5月16日
紹 矢島高明



清原一平
(飯能RC)

入 2026年7月8日
勤 司法書士清原一平事務所
役 代表
生 1980年8月18日
紹 高橋 弘



五十嵐正則
(飯能RC)

入 2026年7月8日
勤 五十嵐酒造(株)
役 代表取締役
生 1974年2月11日
紹 前島宏之



柳田 淳志
(入間南RC)

入 2026年1月13日
勤 (株)ホンタカーズ埼玉西
役 保険外商部長
生 1962年7月17日
紹 石田 徳一



小林英樹
(入間南RC)

入 2026年5月19日
勤 (有)小林電気
役 代表取締役
生 1968年3月9日
紹 石田 徳一



齋藤和也
(入間南RC)

入 2026年5月19日
勤 (株)齊藤設備
役 代表取締役
生 1975年6月29日
紹 石田 徳一



矢嶋洋行
(入間南RC)

入 2026年5月19日
勤 (株)Maverick Hideout
役 代表取締役
生 1977年11月13日
紹 荻野喜美雄



上野勝久
(所沢西RC)

入 2026年7月7日
勤 (株)和孝
役 代表取締役
生 1976年4月17日
紹 上野 孝二



水澤太一
(所沢西RC)

入 2026年7月7日
勤 (株)武蔵野銀行
役 支店長
生 1976年7月16日
紹 青木 芳憲





表彰

Award Collection

PHF ボール・ハリス・フェロー	MPHF マルチプル・ボール・ハリス・フェロー	PHS ボール・ハリス・ソサエティ	BF ベネファクター
MD メジャードナー	米山 米山功労者	米山M 米山功労者マルチプル	米山MD 米山功労者メジャードナー

PHF x1  前島 宏之 (飯能RC)	PHF x1  本橋 勝 (飯能RC)	PHF x1  吉澤 文男 (飯能RC)	MPHF x4  中里 昌平 (飯能RC)	MPHF x4  田辺 實 (飯能RC)
MPHF x3  半田 武 (飯能RC)	MPHF x3  矢島 高明 (飯能RC)	MPHF x3  森 健二 (飯能RC)	MPHF x2  市川 昭 (飯能RC)	米山M x2  市川 昭 (飯能RC)
米山M x2  伊澤 健司 (飯能RC)	米山 x1  川口 浩 (飯能RC)	米山M x2  寶積 英彦 (狭山中央RC)	米山MD x13  東 美栄 (狭山中央RC)	米山 x1  和記 毅 (所沢西RC)
MPHF x2  清水 保人 (熊谷南RC)	米山M x2  石井 一則 (熊谷南RC)	BF x1  宮本 伸子 (行田さくらRC)	 2570 地区 公式サイト https://rid2570.gr.jp/	

会員数

[2026年7月]

グループ	クラブ名	会員数				
		2026年度初め	2026年7月末	対年初増減	2026年7月末女性会員	M Y R C登録率%
第1南	川越	100	101	1	5	51
	川越小江戸	14	14	0	2	50
	川越西	37	38	1	7	58
	川越中央	21	22	1	0	36
第1北	東松山	19	19	0	1	100
	坂戸	33	34	1	1	30
	越生毛呂	7	7	0	1	1
	鶴ヶ島	32	32	0	2	62
	坂戸さつき	20	20	0	4	60
	東松山むさし	35	35	0	3	38
	小計	318	322	4	26	49

第2	朝霞	22	22	0	2	50
	志木	49	49	0	4	57
	富士見	36	36	0	0	42
	新座	31	31	0	3	27
	小計	138	138	0	9	44

第3西	入間	39	39	0	2	46
	飯能	66	70	4	2	42
	日高	23	23	0	4	39
	新狭山	10	10	0	0	90
	入間南	45	45	0	1	55
第3東	狭山中央	18	18	0	5	44
	所沢	67	67	0	6	32
	新所沢	18	19	1	2	63
	所沢西	38	40	2	4	31
	所沢東	47	48	1	2	30
	小計	371	379	8	28	47

第4東	深谷	59	59	0	13	42
	岡部	20	20	0	2	70
	深谷東	70	70	0	0	35
	深谷ノース	30	30	0	5	48
第4西	本庄	111	111	0	12	28
	秩父	52	54	2	1	50
	寄居	31	32	1	1	66
	皆野・長瀬	7	7	0	0	29
	小計	380	383	3	34	46

第5西	熊谷	95	93	-2	2	49
	熊谷籠原	26	26	0	0	41
	熊谷南	26	26	0	2	54
第5東	行田	52	53	1	5	15
	羽生	37	41	4	4	21
	加須	22	22	0	1	13
	行田さくら	47	47	0	4	67
	吹上	5	5	0	0	80
	小計	310	313	3	18	43

地区	合計	1,517	1,535	18	115	42
----	----	-------	-------	----	-----	----

※新年度のグループ編成に伴いクラブ掲載順を変更しています。

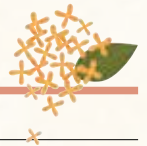
スケジュール

9月 September



1 (火)	【公式訪問】吹上
2 (水)	【公式訪問】坂戸さつき (夜)
5 (土)	財団セミナー 社会奉仕委員会セミナー
7 (月)	ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー
8 (火)	(GELS) (神戸)
10 (木)	【公式訪問】東松山 / 東松山むさし (夜)
15 (火)	【公式訪問】朝霞
17 (木)	【公式訪問】川越小江戸 / 川越西
18 (金)	【公式訪問】富士見
19 (土)	RLI part I
20 (日)	青少年交換帰国報告会 (第2回オリエンテーション)
27 (日)	米山梅吉記念館研修旅行 (米山梅吉翁お墓参り)
29 (火)	【公式訪問】行田さくら

10月 October



5 (月)	地区ゴルフ (平成倶楽部)
6 (火)	【公式訪問】羽生
7 (水)	【公式訪問】熊谷籠原 / 熊谷南 (夜)
13 (火)	【公式訪問】所沢 / 新所沢 / 所沢西 / 所沢東
15 (木)	【公式訪問】新座
17 (土)	財団第2回オリエンテーション
18 (日)	外国人によるスピーチコンテスト (鶴ヶ島RC)
20 (火)	【公式訪問】越生毛呂
21 (水)	【公式訪問】加須
25 (日)	外国人によるスピーチコンテスト (熊谷南RC)
27 (火)	【公式訪問】秩父 / 皆野長瀬

ガバナー月信 9月号 2026-2027年度 Vol.3

2026年9月10日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長: 井上 豊 副委員長: 金子展明
委員: 宮前 勉 浅見 徹 橋本和也